

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 児童発達支援事業 山形コロニー ういる天童はが

公表日 令和 8 年 2月 9日

○：できている △：より良くしたい ×：できていない

	チェック項目	評価	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○	・一人ひとりの療育活動の目標や活動設定等や人数等も考慮して小集団等で活動しています。事業所内の個室、教室、多目的ホール、庭や地域の中にある近隣の公園や散歩道等も利用しています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	△	・定められている保育士等の配置基準は各ユニット2名ずつですが、当事業所は基準より多い職員を配置しています。 ・職員は保育士8名、児童指導員3名、社会福祉士4名、精神保健福祉士1名など、国家資格等をもつ職員を配置しています。	・親子療育の向上図っていけるよう、利用される方の置かれている環境や現状を全職員で共有・理解し関わっていけるよう取組んでいきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○	・当事業所は、これまでも療育環境としての安心・安全と分かりやすい環境を考え『構造化された施設』として運営しています。また、地域の障害のある方や高齢の方等、どなたでも来所しやすいようバリアフリーの環境となっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○	・施設内は1年を通して常時換気、遊具等は清掃・消毒等を毎日行っています。	・建物の経年劣化による改修は都度検討し進めております。清潔を保っていけるよう気付いたことは声をかけあい、整えていきたいと思っております。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○	・お子さんの状況等に応じて使用できるよう、個別で対応できる個室を備えています。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	△	・毎日、限られた時間内ではありますが朝と夕のミーティングを行っています。支援内容の振り返りや共有等を行い、今後の活動へ反映できるよう取組んでいます。	・PDCAの意識を全体で再度確認、共有し、伝達方等を都度検討し取組みを継続して参ります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○	・毎年保護者向けアンケートを実施し公表しています。	・保護者の方々からの意見をを通して、私たちが気付けなくなっていることを再認識をしたり、意見についても学ぶことが多くあります。今後も保護者の方々とは相談をしながら一緒に良い事業所づくりに努めていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	△	・今年度も職員研修を行う時間を定期的にもち、その中で意見や考えを聴く機会を設けてきました。	・業務全般について様々な意見を聴き、共通理解を広げていけるよう改善に努めています。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	・法人全体では、適切な事業所運営のために積極的に外部からの訪問や見学等を受け入れております。これまでも山形県の監査等を受け、運営についてのご指導や意見交換をしております。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	△	・法人全体研修や内・外部での研修を実施し、専門性向上を図れるよう努めています。	・研修内容が普段の支援にどのように繋がり活かされるのか振り返り等も含め取組んで参ります。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○	・お子さん一人ひとりの「たのしい！」 「できた！」機会に繋げていけるよう日々の支援プログラムを作成し、ミーティング等で検討しています。 ・昨年度からプログラムの公表を当法人のホームページで公表しております。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	△	・現状の成長段階等を確認し、達成できる目標を計画するよう努めています。今後も保護者やお子さんの環境や状況を把握し寄り添いながら、具体性をもって実践できるよう取り組んでいます。	・お子さんの成長段階、保護者のニーズ等、様々な視点に立ち、実践できるよう進めてまいります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	△	・ミーティングや研修などを通して、職員の意見等を聴いたり、確認するよう努めています。支援の『共通理解』に繋げたり、深めていけるよう今後も意見交換や当事業所の思い等を伝達していけるよう進めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	△	・計画に沿った内容であるかを都度確認し支援を行っています。 ・日々の療育活動で「計画に沿った」視点や遊びの展開をどのように進めていけるか都度検討しています。	・目標に対しての関わり等をお子さんや保護者の皆さんと共有して進めていけるよう努めて参ります。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○	・遠城寺式発達検査表等を用い、客観的評価で現状の段階や発達課題を確認できるよう努めています。アセスメントの必要性や視点を今後より深めていけるよう取り組んでいます。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○	・当事業所では、これらの項目が全児童の個別支援計画にもれなく位置づけられています。	・計画書に沿って『共通理解・共有』を全職員で進め、適切なサービス提供へ繋いでいけるよう進めて参ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○	・計画に基づく活動プログラムの立案～検討～決定はミーティング等で共有や確認を重ねています。	・親子通所での「楽しい」「また行こう」と思える時間をどのように提供できるか日々試行錯誤ではありますが、全体で進めていけるよう努めています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・活動予定や流れの大枠は定め、その中で1年を通して季節を感じられる遊びの提供や、同じ活動でも遊び方を工夫し、お子さんの興味・関心を上げていけるよう関わっています。	・お子さんの発達や成長状況、支援員間での遊びの立案等を検討していけるよう努めています。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	・計画時において、成長や発達の段階を確認し、個別・小集団の活動設定を検討しています。現状の環境から関わり方や対応等を検討するよう全職員で努めています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・『支援予定表』を使用し、限られた時間内ではありますが、職員同士が連携して検討や確認が進められるよう努めています。	・利用状況や役割、事業所としての1日の動きや対応（見学等）を具体的に伝達・記載し共有するよう努めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	△	・支援終了後に、毎日振り返りや確認を行っています。活動状況や環境の設定等を確認し、次回の対応について検討し、反映するよう努めています。	・限られた時間内で全体運営等のことも含め共有等を行っています。紙面上や打合せで共通理解をもって望めるよう都度見直しをして参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	△	・制度改正において、より一層記録等の業務を求められているため、記載する内容等について確認・伝達等を行っています。	・記録の必要性や求められている記録の内容、適切な記入、記入後の改善等について職員一人ひとりが考え全体で進めていけるよう努めて参ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・日常の親子活動の時や、帰りの対応時、または面談設定等で、保護者から話を伺う機会をもっています。	・保護者への声掛けや関係機関とも適時連絡や連携を取り合い、継続して活動を応援していけるよう努めています。

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・主に児童発達支援管理責任者が参加しています。 ・参加する際には支援員等から活動時の様子や発達状況を確認し参加するようにしています。今後もその点を継続し参加できるよう努めてまいります。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・主に児童発達支援管理責任者が参加しています。 ・外部連携時には、事前に支援員等と情報共有するよう努め、状況の確認を行っています。訪問等で直接見る機会を設定し、継続した連携が行われていくよう努めています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・保育園、幼稚園、こども園を併用する児童が多いため、適時在籍園に連絡や訪問等を行い、現状や目標の共有に努めています。 ・連携した内容についても事業所内で共有するよう努め、療育活動をどのように進めていけるか検討と実践に努めています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・天童市健康課、教育委員会、保育園等とは訪問や連絡を行っています。園との併用児童が多いため、移行連携は園が主体となる機会が多いですが、療育活動の場とも共有する機会をもっています。今後も移行支援を意識し適切な機会を提供していけるよう努めています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	△	・地域の児童発達支援センターから助言を受けることや連携が図られることはありません。 ・地域で行われる各種研修には参加しています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	・地域のなかにある公園や散歩道等で挨拶や環境の共有等をする機会を大切にしています。 ・地域交流会「天童コロニー祭り」を、コロナ禍後ようやく再開できました。 ・関係機関と就園する園等との連携、相互の訪問支援、情報共有等を行っています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・親子通所時や帰宅時、「おたより」等で保護者の皆さんへ伝える時間をもてるよう継続して取り組んでいます。 ・活動状況の伝え方等には工夫をし、家庭と繋がっていけるよう全職員で努めて参ります。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	△	・日頃の親子通所時から、お子さん・保護者との信頼関係を築くことから始めるよう努めています。関係が構築できることで、関わり方や声のかけかた、褒めて関わること等を共有しています。	・全職員がお手本となれるよう、ペアレントトレーニングの土台を再度確認し、今後も学んでいきたいと思っております。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・利用契約の際に説明しています。運営規定や重要事項説明書等に変更があれば説明し、同意をいただいています。 ・職員自身も制度等について知り、理解を深めて参ります。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・親子通所時やモニタリング等で確認を進めています。家庭や在籍園での様子、主治医等からのアドバイス等を確認し、療育活動での計画作成に繋げていけるよう努めています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	・児童発達支援管理責任者が保護者や、職員等と確認したことを集約した計画書を作成し、保護者から同意を得ています。お子さんの発達段階や現状を鑑みて説明を行い、共有し活動へ繋げています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	・家庭での子育てや、園・療育等での活動全般について「どうしてこうなのかな」と感じることに寄り添えるよう全職員が日々接しています。相談体制や機能は十分ではありませんが、全体で声をかけあいながら力をつけているよう進めています。	・保護者への声かけ、活動内容の目標等の共有をする機会をよりもっていけるよう努めてまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	△	・親子活動終了時に保護者の皆さんと振り返りの時間をもち、お子さんの様子等を話す機会を設け、交流に繋げています。	・きょうだい同士で交流する機会はイベント機会時に参加いただける環境を設けています。面談時にもきょうだい間での家庭での状況や共有等を行っております。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・ご要望や苦情の受付体制は契約時に説明しています。また、掲示や直接受付の実施予定を連絡網でご案内しています。今年度も第三者委員の直接受付を2回開催しました。 ・今後もご意見等を言いやすい雰囲気や環境作りの整備を行って参ります。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	△	・主にホームページで活動の様子を伝えています。長期休暇等では連絡網を活用した発信を行っています。	・SNS全盛期ではありますが、発信方法をどのようにすると良いか検討を重ねております。親子活動での『実体験』を重ねていけるよう機会を設けたいと思います。 ・おたよりでの発信、活用も進めていけるよう努めます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・個人情報、保護規定に沿って管理しています。契約時に書面を取り交わすことを継続しております。今後も個人情報を取り扱う意識を向上していけるよう、声をかけあい、職員教育にも取り組んでいます。	
43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・活動を共にし、個々に合った伝達方法を都度検討して関わっています。視覚的に分かるツール等を検討・活用し、お子さんが「わかる」「伝わっている」と感じ、周囲と繋がりをもてるよう支援しています。	・意思疎通や伝達は表情や行動、言葉等、お子さんによって様々です。色々な思いを受止めながら思いの発信や受信に繋げていけるよう努めています。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	・今年の地域交流会では近隣の方にも多くご参加・ご協力いただき開催いたしました。 ・継続して地域の子育てサロンへ参加し交流を続けています。	・今後も地域の方々の必要に応じて施設を使っただけできるよう繋がりをもち活動して参ります。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症や緊急時等のマニュアルを作成し、現状に合わせて都度修正や整備を進めています。 ・活動時に保護者の方とも訓練を行っています。 	・訓練の内容等については、今後も整備をし、検討を重ねていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・法人全体で業務継続計画を策定し、修正や更新をしています。非常時に分かりやすい内容で進められるよう整備しています。 ・法令に則り、年2回以上の避難訓練を実施し、その都度1週間の訓練週間を設け、全利用児の方に参加していただいています。 	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・通所時の体調等の確認を保護者と共に行っています。服薬が必要な方には与薬依頼書を説明し同意を得た上で職員が投薬をしています。 ・怪我等がある際には保護者へ状況等を合わせて伝え、確認・共有をしています。 	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーの有無等については、利用開始時に必ず確認しています。個々の実情に基づいた確認を行い提供しています。おやつ等の提供時もリスク管理を行っています。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を作成し、必要な訓練（避難訓練等）や研修（熱中症対策、感染症等）を行っています。 ・安全・安心な環境を整備し、維持・継続を今後もしていけるよう、適時見直ししながら、計画を進めています。 	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練に親子で参加や、継続した感染症対策（検温、消毒、マスク着用）等で保護者の皆様にはご協力をいただきながら進めてきました。移動時には手をつないで歩行する等、日々の活動時にも安全面について確認をしています。 	・家族等への周知、連携がより図られるよう検討を重ねてまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット等は、職員間で毎日チェックと共有を行っています。環境設定や関わりを検討し次回に繋げていけるよう調整しています。安全管理の視点や遊び方等を今後も気付きや学びをもっていけるよう継続して行っております。 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・県主催の研修に法人内から毎年参加しております。また年1回以上は全職員に法人内外で研修する機会をもっています。日々のミーティングでも全体で気付きを共有するよう努め、早期発見・虐待防止の視点を醸成するよう取組んで参ります。 	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでも、強度行動障害児等、活動に安全管理等が必要なケースは具体的な対応等を計画に入れ、内容を説明し同意を取っています。そういった対応に繋がらない支援が前提ですが、やむを得ず対応を要する時は、必要最小限の対応と支援内容の記録等を行える体制の整備を確認しています。 ・身体拘束がどのようなことなのか、普段の活動でどのように意識するといったのか等、基本に立ち返り職員一人ひとりが学びを進めていけるよう努めていきたいと思っております。 		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業 山形コロニー ういる天童		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 29日		2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 24
○従業者評価実施期間	2026年 1月 16日		2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	親子で進める子育てサポート事業を、療育支援の特色として実施している。	<ul style="list-style-type: none"> 親子通所の中で、「できた」「楽しい」「また一緒に来たい」と感じる療育機会を提供できるよう、毎日職員間で、より良い支援等に向けてのPDCAを行っている。 「できた、できない」の結果ではなく、本児の努力「頑張っているところ」を認め、励まし、自信の向上を支援している。 「できているところ」を「できつづけられる」ように本児に関わり自信を重ねられるよう親子通所を支援している。 	成長に伴い、療育から希望する園への段階的移行を果たせるよう、親子での子育て支援を継続していきたい。
2	親子通所への参加を原則としているが、幅広い療育ニーズに寄り添えるよう、預かり支援も行い療育の継続を応援している。	・預かり支援は、親子分離課題や就園準備支援、母のレスパイトケア等を目的に実施している。	<ul style="list-style-type: none"> より質の高い療育支援や、障害への理解や配慮、保護者への相談援助等のスキルアップを全職員で高めていけるよう今後も研修を実施したい。 家族支援や、保育園等へのサポートの重要性を共有し関係機関との連携を強化し、支援をおこなってきたい。
3	地域の療育ニーズや利用希望等に応えるため、定員超でも、受け入れ可能最大数の受け入れに継続して努めている。	地域の療育事業所として認知され、安心して相談・利用いただけるよう、地域と連携や交流を重視した事業活動を行っている。(地域の子育てサロンへの参加、市町村主催研修参加、地域交流会の開催 等)	より一層、地域の皆さんに開かれた事業所になるよう、日常から地域への参加と関わりを大切にしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・親子通所に参加したいが、地域の実態として共働きや就業環境を理由に、通所が難しい、または限られた回数しか通えない家庭が増加傾向にある。	・現状の提供条件が先行しており、地域のニーズに基づいた具体的検討が不足している。	<ul style="list-style-type: none"> 働く方が、より親子で療育支援を受けやすくしていくための具体的検討を地域のニーズの変化に沿って行っていく。 更なる保護者のニーズアセスメントを進めていく。 日々のミーティングで提供した療育内容の確認や検討を継続していく。 調整してでも親子活動に参加したいと思っただけの療育の提供と継続に努めたい。
2	・通所されている方への情報発信を増やしたい。 ・通所検討中の方にもどのような活動をしているのか分かるような具体的な療育活動の情報提供を行いたい。	<ul style="list-style-type: none"> 年間予定や、活動状況等の取組みが見えづらい。 療育活動中のお子様との関わり方等を、すべての保護者の皆さんと共通認識を十分に共有できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々のケースの希望や目標と、事業所が目指していきたい目標等を、より分かりやすく共有できるよう工夫していく。 当事業所の特色等が伝わりやすいツールを検討していく。
3	・関係機関との連携のための時間や手立てが十分ではない。	・併用している園や市の窓口等との連携をする機会が限られてしまっている。	<ul style="list-style-type: none"> 連携機会等のスケジュール管理や定例化の検討や、訪問月等を見える化するなど具体的な工夫をしていく。 目標の共有等を関係機関と行えるよう担当者会議等の機会を積極的に働きかける。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援事業 山形ココニー ういる天童はが

公表日 2026年 2月 9日

利用児童数 令和 8 年 1月 16日 回収数 24

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23	0	1	0	ホールは常にぶつかる心配があります。	ご意見ありがとうございます。 お子さんの安全に配慮しながら環境を整えて いきたいと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19	3	0	2	・預かりメインで通所しているの、全体の ことはわからない部分は大いにありますが、 スタッフの方々が変わったりするので利用者 だけでなくスタッフの方々も働きやすい、働 き続けられる処遇、職場環境になればいいな あとと思います。(子供たちも安心して通える ので) ・朝、お部屋に職員さんがいないと困ること があります。	ご意見ありがとうございます。 朝のミーティング時・支援準備等の時間の持 ち方について考えていきたいと思っておりま す。また職員の職場環境についても併せて考 えていきたいと思います。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22	1	0	1	ホールの柱にクッション材などを取り付 けてほしい。	ご意見ありがとうございます。お子さんの状 況や見え方等に配慮し都度考えていきたいと 思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	0	1	0	階段でよくほこりを見かけます。 子どもの足の裏がすぐゴミだらけにな るのも気になってました。	ご意見ありがとうございます。清掃につい ては清掃時間や清掃用具の見直しを行い改善を 図っております。心地よく過ごせる環境を今 後も整えていきたいと思います。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	24	0	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	23	1	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	23	1	0	1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援 内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的 な支援内容が設定されていると思いますか。	18	2	0	4		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	2	0	0		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います か。	19	3	1	0	お散歩ルートがいつも同じなので横断歩 道を渡る練習などもしたかったです。	ご意見ありがとうございます。 保護者の方々と活動内容や意図についての共 有をしてまいりましたが、今後もより良い共 有の在り方について検討し取り組んでまいり ます。
11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	20	0	2	1			
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	24	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24	0	0	0		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	2	1	4	・もっと増やしてほしいくらいです。た くさん情報や勉強して共有してほしいで す。 ・行われていたようですが兄弟がいるの で参加できず残念でした。	ご意見ありがとうございます。今後も日々の 活動に関わり等について保護者の皆さんと共 に学ぶ機会をもっていきたいと思います。ま た、ご兄弟との参加についても検討してまい ります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	22	2	0	0		

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	2	0	0	面談は1回のみなので、わかりませんが助言は助かっております。 ・頻度は少なかつたように感じます。	ご意見ありがとうございます。 お子さまの状況に合わせて面談を行っていましたが、今後も保護者の方に寄り添った面談の在り方を工夫してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	2	0	0	丁寧に関わってくださりありがたいです。特に自宅での様子とういでの様子に差があるのでヒヤリングして下さると、活動の時に注視できるのでどんどん聞いてほしいです。	ご意見ありがとうございます。昨年度から活動後に保護者の方と振り返る時間を持ち充実化したことで、私たちも気付きを得ることが増えました。今後も継続して参ります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	3	3	6	まだ参加したことがないのでわかりません。	ご意見ありがとうございます。当事業所ではきょうだい交流を目的とした活動は行っておりませんが、地域交流会等の機会はきょうだいの方にも一緒に楽しんでいただきました。また、きょうだいの発達相談等もお受けしております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	2	0	1	この項目ではないと思うのですが、大変お世話になった職員さんが突然いなくなるのが残念です。	ご意見ありがとうございます。現在も常時対応できるよう相談体制等持ち合わせていますが、今後も保護者の皆様が安心して相談ができる体制を持ち続けていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	3	1	4	イベント等があったとき、コロニーのHPに掲載されるのがとしばらくしてからか、なしの時もある。日常活動の掲載があってもいいのでは？HPにあげた時は周知してほしい。 HPを見てないのでよくわかりません。	ご意見ありがとうございます。 広報については、土曜開所等の掲載を行っておりますが、今後は日常の活動内容についても掲載できるよう取り組んでまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	21	1	0	2	覚えていないだけかもしれません。	ご意見ありがとうございます。 これまでも共有してまいりましたが、より伝わりやすい共有の在り方を検討してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24	0	0	0		これまでも、法定訓練に加え感染や利用児の安全について検討し訓練を行ってまいりました。今後も安心安全な環境について日々取り組んで参りたいと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	22	1	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	2	0	3	そのような状況(けが等)にまだなつたことがないのでわかりません。	ご意見ありがとうございます。怪我等があつた際には都度保護者等へ状況について説明しております。緊急時は保護者に連絡し、病院の受診等をご相談しております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24	0	0	0		当事業所はお子さんの「わかる」「できる」が一人一人のペースで重なり安心感を持って活動が広がっていくよう、職員全体で進めていきたいと思っています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	21	2	0	1		お子さんや保護者等の皆さんが「またういりに来たい！」とっていただけるよう、今後も職員一同努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	2	0	0		